【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-102880(P2005-102880A)
【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)
【年通号数】公開・登録公報2005-016
【出願番号】特願2003-338931(P2003-338931)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月26日(2006.9.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域を有する遊技機本体の前面側において開閉可能に設けられ、窓部を有する扉体と、
前記扉体の背面側に設けられ、前記窓部を介して前記遊技領域を視認可能とする一対の透明体及び該透明体の外周に設けられる保持部を有する透明体ユニットとを具備してなる遊技機において、
前記保持部は、前記一対の透明体を所定間隔で保持し、当該透明体に挟まれた内部空間を構成し、さらに、前記内部空間と外部との通気を可能とする通気孔を有しており、
前記透明体ユニットは、前記一対の透明体が所定間隔で配置されるよう当該透明体を保持部に対して接着固定した後、前記保持部の前記通気孔を閉塞して形成されていることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
遊技盤を有する内枠に対して開閉可能に設けられ、窓部を有する前面枠セットと、
前記前面枠セットの背面側に設けられ、前記窓部を介して前記遊技盤の遊技領域を視認可能とする一対の透明体及び該透明体の外周に設けられる保持部を有する透明体ユニットとを具備してなる遊技機において、
前記保持部は、前記一対の透明体を所定間隔で保持し、当該透明体に挟まれた内部空間を構成し、さらに、前記内部空間と外部との通気を可能とする通気孔を有しており、
前記透明体ユニットは、前記一対の透明体が所定間隔で配置されるよう当該透明体を保持部に対して接着固定した後、前記保持部の前記通気孔を閉塞して形成されていることを特徴とする遊技機。
【請求項３】
前記保持部の通気孔は、内側ほど縮径されたテーパ状をなしており、前記通気孔の閉塞は、接着剤を用いてなされることを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記透明体ユニットは、前記内部空間の湿気を除去する除湿手段を有していることを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の遊技機。